

THE REVIVAL OF
SOCIAL THEORY

社会システム論と再帰的自己組織性を超えて

社会理論の再興

遠藤 薫
佐藤 嘉倫
今田 高俊
[編著]

社会理論の再興

社会システム論と再帰的自己組織性を超えて

ENDO Kaoru, SATO Yoshimichi and IMADA Takatoshi

遠藤 薫/佐藤 嘉倫/今田 高俊
[編著]

THE REVIVAL OF SOCIAL THEORY
Beyond Social System Theory and Reflexive Self-Organization

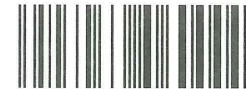
ミネルヴァ書房



ミネルヴァ書房



9784623077687



1923036060000

ISBN978-4-623-07768-7
C3036 ¥6000E

定価(本体6,000円+税)



THE REVIVAL OF SOCIAL THEORY
Beyond Social System Theory and Reflexive Self-Organization

第I部 社会システム論とモダニティ

第1章 社会システム論からモダニティを再検討する……………今田高俊 3

- 1 機能分化としてのモダニティ……………4
- 2 機能分化の類型学——パースンズの社会システム論の特徴……………6
- 3 制御としての機能論理——前期ルーマン理論の射程……………11
- 4 自己言及図式はモダニティと両立するか——後期ルーマン理論にみる両義性……………14
- 5 モダニティの綻び、あるいは再びのパラダイム転換……………19

第2章 モダニティと制度論……………盛山和夫 33

- 1 制度の学としての社会学……………33
- 2 社会学における説明の論理とその問題点……………38
- 3 自生的秩序論とその問題……………44
- 4 制度研究の課題……………49

第3章 モダニティと社会学……………友枝敏雄 55

- 「社会的なるもの」の把握をめざして
- 1 社会学の誕生……………55
- 2 「社会的なるもの」の探究……………61
- 3 「社会的なるもの」の客観的測定は可能か……………68

第4章 自己産出系の公理論……………佐藤俊樹 77

- システム論の syntax と semantics
- 1 自己産出系論への公理論的アプローチ……………77
- 2 syntax と semantics の位置づけ……………79
- 3 自己産出系論の syntax……………80
- 4 自己産出の形態……………82
- 5 制度の経験的記述との関係……………83
- 6 自己産出系論の semantics……………84
- 7 伝統的な行為論との接続……………85

第5章 モダニティと意味……………高橋 徹 91

- 1 「古典近代」の終焉をめくって……………91
- 2 モダニティと意味……………97
- 3 モダニティの命脈……………106

第6章 近代と公共性

——ハーバース批判の試み

橋本 努

- 1 ハーバースを超えて……………111
- 2 民主主義のさまざまな意味……………111
- 3 コミュニケーション概念の批判的検討……………112
- 4 社会的国家を批判する視点……………114
- 5 国家市民的自律の検討……………129

第7章

東アジア型ハイブリッド・モダニティ？

——在中国日韓台企業の比較が示唆する現実

園田茂人

- 1 中国の台頭という歴史的经验……………135
- 2 調査のデザインとデータの形状……………139
- 3 仮説と分析結果……………142
- 4 結果の解釈……………146
- 5 グローバル化の中の個別主義的紐帯……………151

第8章

「評価国家」における統治の構造

——政治的合理性・プログラム・テクノロジ

町村敬志

- 1 「小さな政府」は本当に「小さい」のか……………159
- 2 「評価」をめぐる理論的課題……………161
- 3 「評価国家」という概念……………163

- 4 「評価」過程の分析枠組み……………168
- 5 「評価国家」概念を検証する……………172
- 6 評価国家の先にあるもの……………179

第II部

再帰的自己組織性論とポストモダン

第9章

自己組織性と社会のメタモルフォーゼ

今田高俊

- 1 内破による自己組織化……………186
- 2 自己組織性のリアリティ——ゆらぎと自己言及……………188
- 3 社会理論への含意……………192
- 4 近代のメタモルフォーゼ——機能優先から意味充実へ……………198
- 5 社会のパラダイムシフト……………202
- 6 意味の文明の試練——ポストモダンとリスク社会……………208

第10章

自己組織性と言語ゲーム

橋爪大三郎

- 1 自己組織システムとは何か……………219
- 2 言語ゲームとは何か……………231
- 3 社会はルールか、システムか……………239

第11章 自己組織性と合理的選択……………佐藤嘉倫 243

- 1 自己組織性理論の重要性と問題点……………243
- 2 合理的選択理論の基本的論理構造……………247
- 3 合理的選択理論によるミクロ・マクロ移行の説明……………250
- 4 自省的行為と合理的選択理論……………253
- 5 エージェント・ベースト・モデルの可能性……………256
- 6 新しい社会理論に向けて……………263

第12章 自己組織化の普遍性と歴史性……………正村俊之 267

- 自律・他律・共律
- 1 自己組織化の諸相……………267
- 2 自己組織化のプレ・モダンの様式……………269
- 3 自己組織化のモダンの様式……………274
- 4 モダンの自己組織化様式の変容……………278

第13章 自己組織性と社会システム……………徳安 彰 289

- 主体のありかをめぐる考察
- 1 自己組織化の主体をめぐる概念的なねじれ……………289
- 2 社会システムと個人の理論的關係……………292
- 3 近代的構成物としての主体……………298
- 4 主体とともに、あるいは主体の先に？……………302

第14章 自己組織性とリスク・信頼……………小松丈晃 307

- 1 リスクのゆえの信頼問題——リスクは信頼を必要とする……………307
- 2 信頼について——信頼はリスクを必要とする……………311
- 3 自己言及的リスクのマネジメント……………315
- 4 リスク管理と信頼リスク管理……………320

第15章 日本における社会システム論の意義と未来……………遠藤 薫 331

- 日本近代と自己組織性
- 1 グローバル化と文理融合……………331
- 2 数理社会学と社会システム論……………332
- 3 日本の社会学——普遍と個別／中心と周辺……………334
- 4 柳田國男の常民論……………339
- 5 戦後の日本社会学……………345
- 6 未来に向けて……………348

あとがき 353
索引